

業種 / 金融業・保険業
 主な事業内容 / 生命保険業
 従業員数 / 42,950人

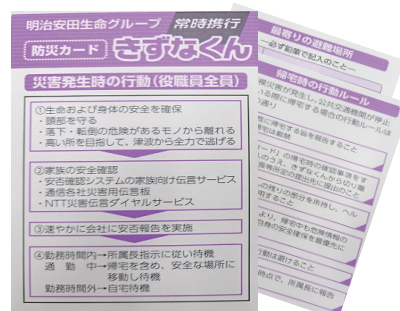
全従業員とその家族に対し「防災カード」を配付

～従業員の社内待機には、家族の安否確認が不可欠～

大規模災害時の帰宅を抑制すべく「災害時の帰宅が非常に危険である」ことを従業員に繰り返し啓発するための防災カードを配付。また、家族の安全を早期に確認できなければ、従業員が安心して会社に待機することは困難であると考え、「家族の安全を確認するためのツール」として、全従業員の家族に対し、家族カードを配付。

平時から従業員と家族の災害時連絡手段や避難場所等を家族と共有するよう推進している。

● 防災カード「きずなくん」



● 家族カード



■ 防災カード「きずなくん」

全国約4万人の全従業員に対して、防災カード「きずなくん」を配付。災害発生時の初期行動や安全確保に関する留意事項、安否確認システムのアクセス方法、会社や家族の連絡先などを記入して常時携行を義務づけている。

■ 家族との連絡手段を記した「家族カード」

従業員の家族に対して、家族との連絡手段を明記した「家族カード」を約20万枚配付。9月の防災週間などを活用して、「家族カード」を用いて家族間で連絡を取る訓練を定期的実施。

家族に「社内待機」、「自宅防災」の重要性を理解してもらう取組みを推進



従業員の家族を招き、会社の防災の取組を説明

従業員への防災意識の啓発に加え、従業員の家族にも「社内待機」の理解を深めてもらう取組みを実施している。「大きな地震があった時、どうしてお父さん、お母さんは会社から帰れないのか?」。そうした家族の想いを汲み取り、従業員の家族(子どもなど)の職場見学の機会に、会社の防災取組みや自宅における防災への取組みの重要性について説明を行なっている。会社の備蓄品倉庫を見学したりするなど、災害時の様子を家族にイメージしてもらうことで、従業員の「社内待機」について理解を深めてもらうとともに、自宅防災の重要性も認識いただく取組みを推進し、家族間で防災行動について考えるきっかけづくりの一助となっている。

● 防災セミナー

社外講師を招いての防災セミナーでは、備蓄品をおいしく食べるコツなど、滞在時のストレス軽減に役立つ情報を提供している。

